

令和4年度

筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

筑紫野市教育委員会

令和5年6月

1. はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し公表するため作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

委員の区別	氏 名	性別	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
教育長	上 野 二三夫	男	R5. 1. 1	R7.12.31
委員	潮 見 眞千子	女	R3.12.21	R7.12.20
委員	牛 川 由 美	女	R2.6.23	R6.6.22
委員	久 原 寛	男	R2.10.4	R6.10.3
委員	未 定			

(2) 教育委員会会議付議事項（令和4年度）

開催日等	議案名
4月27日 第4回定例会	○筑紫野市奨学生の選考について
6月3日 第5回定例会	○令和3年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について ○筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）教育費について
6月30日 第6回定例会	○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○令和4年度学校運営協議会委員の委嘱について
7月28日 第7回定例会	○令和3年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について ○令和5年度使用小学校教科用図書の採択について ○令和5年度使用中学校教科用図書の採択について ○筑紫野市立山家幼稚園給食調達料補助金交付要綱の制定について
8月25日 第8回定例会	○筑紫野市学校給食費物価高騰対策事業補助金交付要綱の制定について ○令和3年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費について ○令和3年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について ○令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第4号）教育費について
9月29日 第9回定例会	○会議付議事項なし
11月8日 第10回定例会	○会議付議事項なし
11月28日 第11回定例会	○令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第7号）教育費について ○令和4年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について
12月22日 第12回定例会	○筑紫野市奨学生の選考について

<p style="text-align: center;">1月26日 第1回定例会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市奨学生の選考について（4件） ○筑紫野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市立山家幼稚園利用者負担額等徴収条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市歴史博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市立学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立学校に勤務する学校用務員の業務等に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市歴史博物館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
<p style="text-align: center;">2月22日 第2回定例会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第10号）教育費について ○令和5年度筑紫野市一般会計暫定予算教育費について ○令和5年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について ○2学期制の実施について
<p style="text-align: center;">3月23日 第3回定例会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度筑紫野市教育振興基本計画について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市スポーツ推進委員の委嘱について

以上の付議事項は全て可決されました。

(3) その他の活動状況

- ①学校訪問・・・給食訪問（4校）
教育長・教育委員懇談訪問（1園・3校）
- ②研修等・・・市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会（オンライン1回）
福岡県市町村教育委員会教育委員研修会（1回）
筑紫地区教育委員会教育委員研修会（1回）
筑紫野市教育委員研修会（5回）
視察研修（ふるさと館ちくしの）（4回）
- ③総合教育会議（1回）

3. 施策の点検・評価

基本事業名	総合計画で示された「事業名」 (教育施策大綱・教育振興基本計画掲載)
めざす姿	総合計画で示された「めざす姿」(教育施策大綱掲載)
目標のあるべき姿	総合計画で示された「目標のあるべき姿」 ※令和5年度末までの目標
目標の状況	「目標のあるべき姿」の令和3、4年度の目標状況
主な取組	総合計画で示された4年間の「主な取り組み」 (教育施策大綱・教育振興基本計画掲載)
具体的な取組	令和4年度実施する具体的な取り組み (教育振興基本計画掲載)
実績	令和4年度に実施した内容
成果・課題	令和4年度の成果及び課題
担当課	〇〇〇

目標 1 人権尊重のまちづくり

【めざす姿】

人権が侵害されない市民生活ができるようになっていきます。
男女の人権が尊重され、あらゆる分野に平等に参画しています。

基本事業名	人権教育及び啓発の推進				
めざす姿	人権を尊重し、侵害しないようになっていきます。				
目標のあるべき姿	この1年間に相手の人権を侵害するような言動や行動をした市民の割合が、3%以下となっています。				
目標の状況	この1年間に相手の人権を侵害するような言動や行動をした市民の割合 (%)	R3	3.7	R4	3.2

主な取組	人権・同和教育の推進			
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科学習カリキュラムを活用した授業を全小・中学校で実施する ○学校における差別事象の発生防止に努め適切な対処を行う 			
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科学習カリキュラムを活用した授業 <ul style="list-style-type: none"> ・R4 年度実施率 100% ○学校における差別発言など事象が発生した場合の連絡・報告体制を整備し、発生時には速やかに状況把握を行い、発生防止に向けた助言・指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校現場における差別事象の報告件数 R3 年度 ⇒ 20 件 R4 年度 ⇒ 16 件 			
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○めざす姿にむけて、全小・中学校で社会科学習カリキュラムを活用した授業が実施された。 今後もこの取組を継続していく必要がある。 ○めざす姿にむけて、差別事象の発生防止にかかる助言・指導等を行うことができた。 今後もこの取組を行うことを通して、子どもや保護者の人権感覚を育んでいく必要がある。 			

担当課	教育政策課
------------	-------

主な取組	人権・同和教育推進体制の充実
具体的な取組	<p>○筑紫野市同和教育研究会への加入促進を図る</p> <p>○関係機関・団体との連携強化に努める</p> <p>○同和教育 5 中学校区事業補助金により、各中学校ブロックの同和教育の推進を図る</p>
実績	<p>○非会員を含めた全職員を対象に定期的に活動報告（行政部会ニュース）発信を行い、学習内容の周知とともに会員募集を随時行った。また、筑紫野市同和教育研究会行政部会が実施する館外研修については、非会員の若手職員に対しても参加呼びかけを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政部会会員：R4 ⇒ 167 人（R3 ⇒ 166 人） ・館外研修参加者 ⇒ 16 人（うち非会員の若手職員 ⇒ 8 人） <p>○関係団体である筑紫野市同和教育研究会（市同研）と定期的な連絡会議を行う等、連携強化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市同研との連絡会議：R4 年度開催実績計 12 回 <p>○各中学校ブロックにおいて一人ひとりを大切にする人権・同和教育推進の充実を図るとともに、各ブロック間の地域格差を解消し、児童・生徒、教職員の人権意識を高めるために 5 中学校推進員会に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修等の参加者延べ人数 R3 ⇒ 10,391 人 R4 ⇒ 13,373 人
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、会員募集等を行ったところ、主査以上の職員の加入を 90%以上という高い水準で維持することができた。今後もこの水準を維持するとともに、若年層の加入率向上に向けた取組を実施していく必要がある。</p> <p>○めざす姿にむけて、市同研との定期的な会議を実施し、共催事業等をスムーズに行うことができた。今後も定期的な会議を実施し、協力体制を維持していく必要がある。</p> <p>○めざす姿にむけて、同和教育 5 中学校区事業補助金を活用しながら、中学校ブロックごとの様々な実践を行うことができた。</p>

	今後もこの取組を継続していく必要がある。
担当課	教育政策課

主な取組	市民の人権・同和問題に対する科学的認識と理解を深めるための啓発
具体的な取組	<p>○人権問題市民懇談会及び機関・団体研修を実施</p> <p>○同和問題啓発強調月間（7月）を中心に講演会、街頭啓発、施設等への看板や懸垂幕の設置等の取り組み</p> <p>○人権・同和問題啓発冊子を発行し、その活用促進を図る</p>
実績	<p>○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、参加者の健康や安全面を最優先にしながら次の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民懇談会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> （市民懇談会）実施行政区：33 参加人数：562人 （機関・団体研修）実施団体：11 参加人数：428人 同和問題をテーマにした研修実績 4件 ・様々な啓発の取組 <p>講演会</p> <p>① 同和問題講演会（日時：令和4年7月23日） （講師：前田隆夫氏 テーマ：同和問題） 講演会参加者数 245人</p> <p>② 人権・同和問題講演会（日時：令和5年2月25日） （講師：山口裕之氏 テーマ：人権問題全般） 講演会参加者数 450人</p> <p>街頭啓発</p> <p>第1回（令和4年7月1日）場所：主要駅8箇所 第2回（令和4年7月13日）場所：商業施設6箇所</p> <p>看板、懸垂幕等の設置</p> <p>場所：55箇所（市内の公共施設等） 期間：令和4年6月30日～令和4年8月1日</p> <p>○啓発冊子の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 同和問題啓発冊子「解放への一歩」（全戸配布） ・12月 広報ちくしの「人権問題特集号」（全戸配布）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 人権作文集「くさび」(PTA を中心に配布)
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、参加者の健康や安全面を最優先にしながら市民懇談会や機関・団体研修を実施することができたが、その一方で同和問題をテーマにした研修が少ない状況となった。</p> <p>今後も感染状況等をふまえながら、開催方法やテーマ設定についての検討が必要である。</p> <p>○めざす姿にむけて、可能な限り同和問題啓発強調月間を中心にした啓発活動を行うことができた。</p> <p>今後も感染状況等をふまえながら、研修内容や開催方法等についての検討が必要である。</p> <p>○めざす姿にむけて、新たな人権課題(コロナ差別)にかかる内容を啓発冊子に掲載するとともに、講演会を活用して啓発冊子の認知度にかかるアンケート集約を実施した。</p> <p>今後も冊子の発行を行うとともに、集約したアンケート結果を客観的な検証につなげていく必要がある。</p>
担当課	教育政策課

主な取組	地域における啓発サポーター養成の取り組み
具体的な取組	○「人権尊重のまちづくりサポーター養成講座」の開催により、地域における人権尊重のまちづくりを推進する人材の育成を図る
実績	○地域における市民啓発の担い手となり得る人材の育成のため「人権尊重のまちづくりサポーター養成講座」を年5回(館外研修を含む)開催した。 ・R4 年度延べ受講者数：163 人
成果・課題	○めざす姿にむけて、様々な感染対策を行いながら、年5回の講座を行うことができた。 <p>今後もこの取組を継続するとともに、新規受講者を増やすための案内や声かけを行っていく必要がある。</p>
担当課	教育政策課

目標 2 子育て支援の推進

【めざす姿】

子育てが楽しく、安心して子どもを生き育てることができています。

基本事業名	幼保サービスの充実
めざす姿	安心して保育所等に子どもを預けて働いたり、幼児教育を受けたりすることができるようになっていきます。
目標のあるべき姿	放課後児童クラブにおける待機児童数が0人となっています。
目標の状況	放課後児童クラブにおける待機児童数（人） R3 0 R4 0

主な取組	放課後児童健全育成事業の推進
具体的な取組	○放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の継続的な運営を支援 ○特別教室等の放課後児童クラブへの活用促進に努める
実績	○放課後児童クラブの運営を NPO 法人ちくしっ子ネットワークへ委託し、運営上の課題解決に向けた協議をその都度行いクラブ運営を行った。 【利用者数】 通 年 1,115 人（ R3:1,089 人） 季節のみ 366 人（ R3: 311 人） ○NPO 法人ちくしっ子ネットワーク及び学校と連携しながら、特別教室等を活用し、待機児童解消に努めた。 ・二日市小学校（会議室） ・二日市東小学校（多目的ホール） ・山口小学校（平等寺バス待合室、多目的室） ・筑紫小学校（家庭科室）

<p>成果・課題</p>	<p>○めざす姿の実現に向けた放課後児童クラブの継続的な運営により、保護者の仕事等による留守家庭への子育て支援の推進に繋がっている。今後も、継続して待機児童数が発生しないよう運営を行っていく。</p> <p>○めざす姿にむけて、今後も、入所児童が増加するクラブについては、特別教室等を活用しながら保育環境の提供に努める必要がある。</p>
<p>担当課</p>	<p>学校教育課・教育政策課</p>

目標3 学校教育の充実

【めざす姿】

子どもたちが確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みながら、充実した学校生活を送っています。

基本事業名	教育環境の整備
めざす姿	安全で快適に学ぶことができる施設となっています。
目標のあるべき姿	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数が0件となっています。
目標の状況	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数（件） R3 0 R4 0

主な取組	老朽化した教育施設（学校施設など）の整備促進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に継続して点検・修繕を行う ○学校設備・備品等の改修・更新を行う ○トイレの洋式化を推進する ○児童・生徒数増加に伴う教室不足の解消に努める ○給食設備の充実を図り、衛生管理の推進に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校施設管理マニュアル」を基に、日常的な点検・修理を行った。また、年2回の「定期点検」、年1回の「劣化調査」を行った。 ○小中学校主な改修・更新 <ul style="list-style-type: none"> トイレル改修 （二日市小（一部）・二日市東小（一部）・吉木小・阿志岐小・山家小・山口小（一部）・二日市北小・原田小・天拝中） 空調改修・更新 （二日市北小・山口小・筑山中） 原田小受変電設備更新 筑紫小学校プレハブ校舎増築 ○主要な学校設備・備品等を安全・安心して使用するために、保守点検契約を行い、安全性を考慮し改修・更新を行った。

	<p>○給食調理場主な点検・修繕・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理機器、保管機器、加熱機器、真空冷却機点検 ・真空冷却機修繕 ・学校用牛乳保冷庫更新、学校配送用コンテナ更新
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、小中学校のトイレの洋式化や学級増に伴う校舎増築などを行うことにより、教育環境の充実を図った。</p> <p>今後も、学校の老朽化した施設・設備の更新等を行い、安全で快適に学ぶことができる施設を目指す。</p> <p>○めざす姿にむけて、各調理機器の点検や点検結果に基づく修繕のほか、学校配膳室の牛乳保冷庫の更新などを行った。その結果、給食提供に支障をきたすような調理機器等の不具合や故障は発生しなかった。</p> <p>今後も定期的な点検を実施し、安定した調理場運営を継続する。</p>
担当課	教育政策課・学校給食課

主な取組	基本的な感染防止対策の徹底
具体的な取組	<p>○手洗い消毒を励行する</p> <p>○児童生徒及び調理員への注意喚起を徹底する</p>
実績	<p>○小中学校において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のための校舎内の消毒作業を毎日行った。</p> <p>○調理室・下処理室の前室の手洗い場にマニュアルを掲示し、正しい手洗いを徹底した。</p> <p>○調理員のパームスタンプ検査を年1回実施。手洗い後の洗浄効果を検査することで調理員の衛生意識の向上を図った。</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、今後も、小中学校において新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら感染防止に努める。</p> <p>○めざす姿にむけて、調理員の正しい手洗いの徹底を図り、安全安心な給食の提供ができた。今後も継続して正しい手洗い方法を調理員に徹底していく必要がある。</p>
担当課	教育政策課・学校給食課

基本事業名	教職員の資質の向上
めざす姿	各種研修により指導力の向上が図られています。
目標のあるべき姿	授業がよくわかると思う児童・生徒の割合が児童 86.0%、生徒 73.2%以上となっています。また、学習指導などの指導力向上の割合が 31.8%以上となっています。
目標の状況	授業がよくわかると思う児童・生徒の割合 (%) R3 児童 82.0 生徒 79.0 R4 児童 78.6 生徒 73.2
	学習指導などの指導力向上の割合 (%) R3 31.9 R4 31.3

主な取組	知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動及び今日的教育課題対応のための研修の充実
具体的な取組	○各種研修会の充実を図る
実績	○「教育力向上一斉研修会」(オンデマンド研修) 令和4年7月25日(月)～8月5日(金)に視聴する。 対象：全教職員
	○「危機管理研修会」 令和4年5月12日(木) 対象：副校長及び教頭
	○「つくしの会－若年教員向け研修－」 令和4年6月2日(木) 令和4年7月29日(金) 令和4年11月1日(火) 対象：若年教員(経験2～6年)
	○「新任特別支援学級担任研修」 令和4年6月13日(月) 対象：初めて特別支援学級の担任となった教員
	○「いじめ・不登校等対策研修会」 令和4年5月23日(月) 令和4年10月19日(水) 令和5年2月9日(木)

	対象：生徒指導担当教員、登校支援員等
成果・課題	○めざす姿にむけて、若年教員の育成やいじめ・不登校に係る対応の理解などを推進することができた。 今後は、これまでの研修を継続していくとともに、教職員の資質向上に係る研修の充実をすすめる。
担当課	学校教育課

主な取組	指導力向上のための校内研修の充実
具体的な取組	○指導主事が校内研修において指導助言を行い、内容の充実を図る
実績	○各校で開催されている校内研修に指導主事が講師として参加し、指導助言を行った。 【研修回数】1回（R3：4回）
成果・課題	○めざす姿にむけて、派遣した学校においては、教員の授業改善や指導力向上につなげる研修を実施することができた。 今後は、コロナ禍により校内研修への指導主事の派遣が減っているため、改めて指導主事の派遣依頼を行うよう各校へ啓発していく。
担当課	学校教育課

主な取組	人権・同和教育研修の充実
具体的な取組	○教職員の人権・同和教育の理解を深める研修会を開催する
実績	○研修会実績 ・筑紫野市新転任教職員人権・同和教育研修会 日時：第1回 令和4年4月27日（水） 第2回 令和4年5月10日（火） 場所：筑紫野市生涯学習センター視聴覚室 講師：溝口 一孝氏 ・筑紫野市教職員「同和」教育夏期研修会 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、オンラインによる動画配信を活用し、各中学校ブロックにて実施した。
成果・課題	○めざす姿にむけて、研修会を実施することができた。今後もこの取組を継続していく必要がある。

担当課	教育政策課
------------	-------

基本事業名	確かな学力の育成
めざす姿	学習意欲が向上し、自ら考え、解決する力が育っています。
目標のあるべき姿	学習意欲の向上がみられる児童・生徒の割合が、児童 65.0%・生徒 60.0%以上となっています。また、家庭等での学習習慣の定着度が、児童 75.0%・生徒 40.0%以上となっています。
目標の状況	<p>学習意欲の向上がみられる児童・生徒の割合 (%)</p> <p>R3 児童 60.9 生徒 63.8 R4 児童 58.6 生徒 54.9</p> <p>家庭等での学習習慣の定着度、児童・生徒の割合 (%)</p> <p>R3 児童 60.2 生徒 46.4 R4 児童 55.5 生徒 40.1</p>

主な取組	児童・生徒の学力実態に応じた指導方法の工夫・改善
具体的な取組	<p>○全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査及び市学力検査を実施し、指導方法の工夫・改善に努める</p>
実績	<p>○「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)</p> <p>令和4年4月19日(火)</p> <p>対象：小学校第6学年 教科：国語・算数 中学校第3学年 国語・数学</p> <p>○「福岡県学力調査」(福岡県教育委員会)</p> <p>令和4年6月21日(火)</p> <p>対象：小学校第5学年 教科：国語・算数 中学校第1, 2学年 国語・数学</p> <p>○「市学力検査」(筑紫野市教育委員会)</p> <p>令和5年1月の学校が指定した日</p> <p>対象：小学校全学年 教科：国語・算数</p> <p>令和4年4月の学校が指定した日</p> <p>対象：中学校全学年 教科：5教科</p>
成果・課題	○めざす姿にむけて、調査結果等を活用し、指導方法の改善につ

	<p>なげることができた。</p> <p>今後も、児童・生徒の学習意欲の向上につながる授業改善や指導方法の研究をすすめる。</p>
担当課	学校教育課

主な取組	家庭と連携した家庭学習の取組の推進
具体的な取組	○コミュニティ・スクールの活動を通じた家庭学習の習慣化を目指した取り組みを行う
実績	○小学校では、コミュニティ・スクールの活動として、「家庭学習強化週間」を設定して取組を進めた。
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、調査結果等を活用し、指導方法の改善につながることができた。</p> <p>今後も、児童・生徒の学習意欲の向上につながる授業改善や指導方法の研究をすすめる。</p>
担当課	学校教育課

主な取組	ICT を活用した教育の推進
具体的な取組	○ICT を活用した教育の推進
実績	○令和4年度筑紫野市 ICT 活用教育実施計画を策定し、ICT 活用教育担当者会及び ICT 活用 ST 委員会を定期的に開催した。また、GIGA スクール推進研修会を3回開催した。
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、各校におけるより良い取組を共有し、それぞれの学校の取組に拡げることができた。</p> <p>今後は、タブレットの利活用が目的となっている授業が見受けられるため、授業におけるタブレットの効果的な利活用に関する取り組みをすすめる。</p>
担当課	学校教育課

基本事業名	豊かな心（徳育）の育成
めざす姿	人を思いやり、尊重する心が育まれています。自ら考え、正しく判断できる力が養われています。
目標のあるべき姿	「いじめ」はあってはならない事だと認識している児童・生徒の割合が、児童 86.5%・生徒 82.8%以上となっています。また、不登校児童・生徒のうち、解消・復帰等の改善がみられた児童・生徒の割合が、児童 60.8%・生徒 70.6%以上となっています。また、図書室の一人当たりの年間貸出冊数が児童 84.6 冊・生徒 8.6 冊以上となっています。
目標の状況	「いじめ」はあってはならない事だと認識している児童・生徒の割合（%） R3 児童 86.3 生徒 83.7 R4 児童 97.1 生徒 97.3
	不登校児童・生徒のうち、解消・復帰等の改善がみられた児童・生徒の割合（%） R3 児童 67.0 生徒 44.6 R4 児童 74.6 生徒 65.2
	図書室の一人当たりの年間貸出冊数（冊） R3 児童 86.9 生徒 6.7 R4 児童 85.7 生徒 7.3

主な取組	いじめ・不登校のための組織的・総合的な指導体制の構築
具体的な取組	○生徒指導に関する相談員等の充実を図る ○不登校対策の組織的な取り組みの推進
実績	○児童・生徒や保護者からの相談体制を充実させるため、心理の専門家であるスクールカウンセラー及び福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを各学校に派遣した。 また、いじめ・不登校等対策研修会において、各校における組織的な取組の推進を図ることを目的とした研修会を実施した。 【令和4年度対応件数】 スクールカウンセラー：84件（R3：111件） スクールソーシャルワーカー：1,280件（R3：973件）
成果・課題	○めざす姿にむけて、多岐にわたる内容に関する相談に対応し、

	<p>児童・生徒及び保護者の心理的な負担感を軽減することができた。</p> <p>今後も、各学校における組織的な取り組みを更に推進していく研修等を実施していく。</p>
担当課	学校教育課

主な取組	学校司書を活用した読書活動の推進及び学校図書館の充実
具体的な取組	○小・中学校図書館の蔵書数の充実
実績	○全校に図書司書を配置し、学校図書標準冊数達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄をすすめた。
成果・課題	○めざす姿にむけて、児童・生徒の興味をひく図書を整備し、学校図書の貸出を促進することができた。 今後は、充足率の向上のため、図書の購入計画や廃棄基準の策定などの検討を行う必要がある。
担当課	学校教育課

基本事業名	健やかな体の育成
めざす姿	心身ともに健康な体が育っています。
目標のあるべき姿	運動意欲の向上がみられる児童・生徒の割合が、児童 90.5%・生徒 84.2%以上となっています。また、健康に関する基本的な生活習慣が身についている児童・生徒の割合が、児童 89.0%・生徒 88.0%以上となっています。また、給食の残菜率が 1.50%以下となっています。
目標の状況	運動意欲の向上がみられる児童・生徒の割合 (%)
	R3 児童 87.1 生徒 82.6 R4 児童 90.6 生徒 82.4
	健康に関する基本的な生活習慣が身についている児童・生徒の割合 (%)
R3 児童 87.2 生徒 88.5 R4 児童 88.0 生徒 86.1	
給食の残菜率 (%)	
R3 3.23 R4 4.54	

主な取組	体力向上プランの実施による健康な体の育成
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○実効性のある「体力向上プラン」や「体育・健康・食に関する指導計画」の作成の推進 ○学校と連携して、給食残菜率の減少を図る
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての小中学校において、各校の実態に応じた「体力向上プラン」及び「体育・健康・食に関する指導計画」を作成した。 ○「給食訪問事業」 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 2 校、中学校 2 校を市長、教育長、教育委員にて訪問し、児童生徒と会食。 日時：10月31日（月）阿志岐小学校 11月 1日（火）筑紫東小学校 11月 2日（水）筑山中学校 11月 4日（金）筑紫野中学校 ○「交流給食事業」 <ul style="list-style-type: none"> 全小学校の1年生と調理員との会食（中止） ○「食に関する指導」 <ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導のDVDを作成・各学校配付
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○めざす姿にむけて、計画的に体力向上に向けた取組を実施し、健康や食に関する指導を行なうことができた。 今後、実効性のある「体力向上プラン」作成する。 ○めざす姿にむけて、学校と連携して給食訪問事業等行うことができた。今後は、これまでコロナ禍のため中止してきた給食時間の交流事業などを、国の通知を注視しながら実施方法を模索していく必要がある。
担当課	学校教育課・学校給食課

基本事業名	特別支援教育の推進
めざす姿	障がいのある子どもが、特性に応じた教育を受けることができます。
目標のあるべき姿	障がいの特性に応じた適切な教育を受けることができる児童・生徒の割合が100%となっています。
目標の状況	障がいの特性に応じた適切な教育を受けることができる児童・生徒の割合（%） R3 児童 100 生徒 100 R4 児童 100 生徒 100

主な取組	個別の教育支援計画・指導計画の充実
具体的な取組	○個別の教育支援計画・指導計画の作成状況を把握し、内容や実施方法への指導助言を行う
実績	○全小中学校における個別の教育支援計画・指導計画の作成状況について調査した。特別支援学級在籍の児童・生徒に関する個別の教育支援計画・指導計画については、必要に応じて、内容・活用等に関する指導助言を行った。 【令和4年度作成数】 小学校：578名（R3：530名） 中学校：200名（R3：178名）
成果・課題	○めざす姿にむけて、児童・生徒の支援体制や支援方法について関係者で共有することができた。また、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた指導を計画的に実施することができた。 今後も、各校における特別な配慮を必要とする全ての児童・生徒についての作成を指導していく。
担当課	学校教育課

基本事業名	地域との協力体制
めざす姿	地域の人材や学習資源が活かされ、地域の教育力が向上しているとともに、地域と一緒に開かれた学校づくりが進められています。
目標のあるべき姿	学校活動に協力してくれた市民の割合が 15.6%以上となっています。また、開かれた学校づくりができていると思う市民の割合が 80.3%以上となっています。また、コミュニティ・スクールによる地域連携教育活動数が 64 件以上となっています。
目標の状況	学校活動に協力してくれた市民の割合 (%)
	R3 7.3 R4 7.1
	開かれた学校づくりができていると思う市民の割合 (%)
R3 71.1 R4 58.5	
コミュニティ・スクールによる地域連携教育活動数 (件)	
R3 48 R4 64	

主な取組	コミュニティ・スクールの活動の充実
具体的な取組	○各学校の学校運営協議会へ出席し、コミュニティ・スクールの取組状況を把握する
実績	○開催された各学校の学校運営協議会に可能な限り出席し、それぞれの学校の活動内容を把握するとともに、他校で取り組んでいる事例の紹介などを行った。
成果・課題	○めざす姿にむけて、学校と地域で育てる子どもの将来像について共有するとともに、地域人材を外部講師として招聘する授業を実施することができた。 今後は、地域学校協働活動への移行を見据え、関係課等と検討をすすめる必要がある。
担当課	学校教育課

基本事業名	就学の支援
めざす姿	経済的負担が軽減され、学校に通うことができるようになっていきます。
目標のあるべき姿	就学支援（支給）が必要な児童・生徒への支援対応割合が 100% となっています。また、就学支援（奨学金貸与）が必要な生徒への支援対応割合が 100% となっています。
目標の状況	就学支援（支給）が必要な児童・生徒への支援対応割合（%） R3 100 R4 100
	就学支援（奨学金貸与）が必要な生徒への支援対応割合（%） R3 100 R4 100

主な取組	経済的理由による就学支援が必要な児童生徒への支援
具体的な取組	○経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などを援助
実績	○教育を受ける権利を保障するため、市立小中学校に通学する上で、経済的な理由によって学用品費や給食費など、学校での学習に必要な費用の支払いに困る保護者に対してその費用の援助を行った。 【支給人数】 小学校： 957 人（ R 3： 943 人） 中学校： 533 人（ R 3： 549 人）
成果・課題	○めざす姿の実現に向けて、入学前の早期申請受付により入学準備等費用が必要となる時期に支給を行った。また、要保護児童生徒援助費補助金補助単価に合わせて支給単価を増額し、支援の必要な児童生徒の保護者に対して援助ができた。今後も支援が必要な保護者に対して、確実に周知を行っていく。
担当課	学校教育課

主な取組	経済的理由によって進学等が困難な学生への支援
具体的な取組	○経済的理由によって進学等が困難な高校生、大学生に対し、 在学中の学業資金を貸与
実績	○就学の意欲があるにも関わらず、経済的理由によって進学又は就学が困難な生徒に対し、奨学金と入学支度金の貸与を行った。 【新規貸与人数】 高校生 5人（R3：5人） 大学生 1人（R3：1人）
成果・課題	○めざす姿の実現に向けて、各中学校進路指導担当者に奨学金の説明を行い、保護者、生徒への周知を図ったことで奨学金が必要な生徒への貸与ができた。今後も、奨学金が必要な生徒に対して、確実に周知を行っていく必要がある。
担当課	学校教育課

目標 4 青少年の健全育成

【めざす姿】

豊かな人間性や志を持ち、たくましく生きる力を備えた青少年が育成されています。

基本事業名	青少年の学習機会、体験活動の充実					
めざす姿	スポーツや文化・芸術、自然や人とのふれあい・遊び、地域活動などの体験活動、社会参加、世代間交流が推進されています。					
目標のあるべき姿	子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思ふ市民の割合が61.7%以上となっています。また、学校の授業以外で体験活動をしている児童・生徒の割合が児童 95.0%・生徒 91.0%以上となっています。					
目標の状況	子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思ふ市民の割合 (%)					
	<table border="0"> <tr> <td>R3</td> <td>40.9</td> <td>R4</td> <td>47.4</td> </tr> </table>	R3	40.9	R4	47.4	
R3	40.9	R4	47.4			
目標の状況	学校の授業以外で体験活動をしている児童・生徒の割合 (%)					
	<table border="0"> <tr> <td>R3</td> <td>児童 86</td> <td>生徒 85</td> <td>R4</td> <td>児童 81</td> <td>生徒 83</td> </tr> </table>	R3	児童 86	生徒 85	R4	児童 81
R3	児童 86	生徒 85	R4	児童 81	生徒 83	

主な取組	子どもが主体となる事業の推進
具体的な取組	○子どもの体験活動を自主的に行う子ども会活動の活性化を図るため、「地域子ども会」へ補助金制度の周知に努めるとともに、筑紫野市子ども会育成会連絡協議会の活動を支援する
	○BG レンジャー等の事業の周知を行うとともに、事業を計画している地域の団体等に対して助言や支援を行う
実績	○「キッズ・ウィンドー」をホームページに移行し、子どもが PC やタブレットなどで見やすいサイトの構築に努める
	○地域子ども会活動補助金の交付 交付子ども会:49 子ども会 3,339 人 (R3 実績: 50 子ども会 3,163 人) 交付額:2,393,230 円 (R3 実績:2,397,800 円)
	○BG レンジャー補助金の交付

	<p>交付数:2 実行委員会</p> <p>内訳: 美北子ども育成実行委員会（美しが丘北）3 年目 岡田町レンジャー（岡田）2 年目 （R3 実績: 2 実行委員会）</p> <p>○「つくってみよう!」「やってみよう!」 家でできる体験活動をホームページや青少年プラザで紹介</p> <p>○夏休み作品展 7 小学校 88 作品（R3 実績: 7 小学校 59 作品）</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、補助金の交付や子どもの体験活動の記事募集を行った。 今後は、事業の継続と共に、情報提供について検討する。</p> <p>○地域子ども会活動補助金 近年交付子ども会数が減少傾向にあり、子ども会活動活性化のために、情報提供等に工夫が必要。</p> <p>○筑紫野市こども情報誌「キッズ・ウィンドー」の紙発行を廃止したため、市ホームページでの子ども向け記事の掲載および、子どもが見やすい環境（バナー等）の構築が必要。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	青少年の居場所づくり			
めざす姿	地域・学校・家庭の連携などにより、子どもが安心して集い、交流できる場がつくられています。			
目標のあるべき姿	放課後に子どもが集える場が充実していると思う市民の割合が 49.7%以上となっています。また、放課後の子どもの居場所がつけられている校区数が 11 か所以上となっています。			
目標の状況	放課後に子どもが集える場が充実していると思う市民の割合 (%)			
	R3	45.1	R4	43.3
目標の状況	放課後の子どもの居場所がつけられている校区数 (校区)			
	R3	1	R4	1

主な取組	青少年が安全で安心できる活動拠点（居場所）づくりの促進
具体的な取組	<p>○学校や地域が行っている活動をさらに充実できるよう、地域学校協働活動を推進する</p> <p>○コロナ禍においても、青少年が安全に利用できる場所として青少年プラザを運営する</p>
実績	<p>○地域学校協働活動の推進として、ちくしっ子遊び広場（山口小）を4回（延べ279人参加）実施（R3 1回）。小中学校に対し、地域学校協働活動推進員の配置希望を調査。</p> <p>○青少年プラザは、感染症対策を行った上で、読み聞かせ団体による読み聞かせを実施。（R4 28回実施）12月からは受験生等のため、自習用の机を増設した。青少年の相談窓口の情報やレクリエーションのチラシを青少年プラザで提供している。</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍を踏まえた事業を推進し、今後は事業継続と共に、人材確保や運営方法を検討する。</p> <p>○地域学校協働活動の推進については、小中学校や7コミュニティ運営協議会、社会教育関係団体の既存活動に注目し、円滑な活動となるようコーディネーターの配置やネットワークの構築などの検討を行う。また、活動への理解を得るため関係各所に説明や研修を実施していく。</p> <p>○コロナ禍での安全な青少年プラザ運営を継続する。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	青少年の指導者育成
めざす姿	青少年の指導者や子どもたちのリーダーが育っています。
目標のあるべき姿	青少年の指導者・子どもリーダー数が 186 人以上となっています。また、生涯学習ボランティア活動数（延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数）が 2,000 人以上となっています。
目標の状況	青少年の指導者・子どもリーダー数（人） R3 121 R4 102
	生涯学習ボランティア活動数（人） （延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数） R3 242 R4 574

主な取組	リーダーとなる子どもや指導者の育成
具体的な取組	<p>○感染症対策のため、市及び市子連ホームページを活用して、指導者育成や子ども会運営に役立つ情報提供を行う</p> <p>○指導者育成を行う市子連活動を周知するため、情報提供について助言等を行う</p>
実績	<p>○育成会研修会 子ども会活動に活かせるものづくり、ニュースポーツ、遊びの体験型研修会を実施。</p> <p>○新子ども会リーダースクール 令和 2～3 年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、集合研修は行わず、各子ども会に自主学習用の資料を配布。令和 4 年度は、同感染症のため、規模を縮小したものの、集合形式で研修を実施。</p> <p>○筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業 495,000 円（R3 実績:0 円）上限 495,000 円</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍での資料送付や市子連ホームページを活用しながら、子ども会運営に役立つ情報提供を行った。</p> <p>○めざす姿にむけて、従来の集合研修スタイルにとらわれず、市及び市子連ホームページを活用しながら、地域子ども会活動への理解と活動の充実へ繋げる。</p>

担当課	生涯学習課
------------	-------

基本事業名	環境浄化活動の推進				
めざす姿	青少年の健全育成を阻害する環境が浄化され、事件・事故が予防されています。				
目標のあるべき姿	少年の検挙・補導人数が 23 人以下となっています。				
目標の状況	少年の検挙・補導人数（人） <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </table>	R3	35	R4	28
R3	35	R4	28		

主な取組	学校、家庭、地域等と連携した青少年健全育成及び非行防止活動の推進
具体的な取組	○青少年指導員会や少年補導員会へ、コロナ禍での活動について助言及び支援を行う
実績	○青少年指導員 54 人 活動回数 487 回 役員・幹事会 7 回 (R3 実績:活動回数 413 回 幹事会 5 回) ○少年補導員 23 人 定例会 10 回 (R3 実績:定例会 8 回) ○安全安心まちづくり推進協議会少年非行防止分科会 インターネット利用マナー啓発クリアファイルの配布 : 976 枚 (R3: 1,037 枚) スマートフォントラブル防止啓発リーフレットの配布 : 2,160 枚 (R3: 2,000 枚) スマートフォントラブル防止啓発 B5 版ノートの配布 :なし (R3: 1,021 冊)
成果・課題	○めざす姿にむけて、地域活動の実施や啓発リーフレット等を配布した。 今後、団体の特性に合わせた活動を実施していく。 ○青少年指導員・少年補導員 新型コロナウイルス感染症のため、市イベントや一斉パトロー

	<p>ルが中止となり、主として所属地でのパトロール活動を行った。青少年指導員会は3年ぶりに教育講演会（138人参加）を開催し、学校やPTA関係者とともに、子どもたちを取り巻くSNS環境を学んだ。</p> <p>今後も、コロナ禍での活動について検討していく。</p> <p>○安全安心まちづくり推進協議会少年非行防止分科会</p> <p>コロナ禍での中学生への影響を考慮し、商業施設における非行防止等キャンペーンは中止した。</p> <p>今後は、コロナ禍での事業推進のため、当該分科会で手法等を継続して検討する。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	青少年の悩み相談の充実
めざす姿	青少年が悩みを抱え込まず、相談することができています。
目標のあるべき姿	青少年の相談窓口を知っている児童・生徒の割合が57.2%以上となっています。
目標の状況	<p>青少年の相談窓口を知っている児童・生徒の割合（%）</p> <p>R3 33 R4 22</p>

主な取組	青少年を取り巻く問題の解決
具体的な取組	<p>○タブレット等から相談しやすくするため、ヤングテレフォンのチラシやPRカードにQRコードを掲載する</p> <p>○国や県等が行う青少年の相談窓口（SNS等）の周知を行う</p>
実績	<p>○ヤングテレフォン相談事業</p> <p>相談件数 電話: 288件 (R3: 377件)</p> <p>メール: 5件 (R3: 1件)</p> <p>PRカード・啓発チラシの配布: 16,003枚 (R3: 20,852枚)</p>
成果・課題	○めざす姿にむけて、従来通り、青少年自身や保護者の悩み相談に対して、傾聴を実施。内容によっては、関係課・機関へ情報提供し、医療的な悩み等については、専門機関を紹介。ヤングテレ

	フォンのチラシや PR カードは、学生や保護者だけでなく、不登校生徒関係者に配るほか、中高生のスマートフォン普及状況を踏まえ、QR コードをポスター等に掲載した。
担当課	生涯学習課

目標 5 生涯学習・社会教育の推進

【めざす姿】

個人や地域のニーズに応じた学習を行う市民が増加し、学習成果が家庭・地域で活かされています。

基本事業名	ニーズに応じた学習機会の充実			
めざす姿	学習機会が充実し、その情報が受けられるようになっています。			
目標のあるべき姿	生涯学習講座の充足度が 88.5%以上となっています。また、生涯学習情報（市ホームページ）アクセス件数が 200,000 件以上となっています。また、生涯学習情報（市広報紙）利用割合が 9.0%以上となっています。			
目標の状況	生涯学習講座の充足度（%）			
	R3	87.8	R4	88.1
	生涯学習情報（市ホームページ）アクセス件数（件）			
R3	141,404	R4	235,698	
生涯学習情報（市広報紙）利用割合（%）				
R3	4.5	R4	5.6	

主な取組	魅力ある学習機会や情報の提供
具体的な取組	○自治公民館主催事業及びコミュニティセンター主催事業は、講座内容やオンラインなどの講座手法を検討する
	○「ちくしの高年大学」の見直しについて検討を行う ○「ちくしの文化講座」は、社会課題であるデジタルディバイド（情報格差）解消に向けて、パソコン・スマホ講座を開催する
実績	○自治公民館主催事業 講座数 24 回 開催公民館 15 館 参加数 340 人 (R3: 講座数 14 回 開催公民館 12 館 参加数 297 人)
	○コミュニティセンター主催事業 講座数 58 回 実施回数 445 回 参加延人数 6,128 人

	<p>(R3: 講座数 66 回 実施回数 265 回 参加延人数 3,317 人)</p> <p>○ちくしの高年大学</p> <p>教養講座 0 回 (R3: 教養講座 1 回)</p> <p>○ちくしの文化講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期講座: 0 講座 (R3: 2 講座) 令和 4 年度より短期講座はすべて自主的な活動に移行。 ・パソコン講座: 27 講座 (R3: 15 講座) インターネット入門、Word, Excel, PowerPoint やスマホ・タブレットの使用方法 ・1 d a y 講座: 9 講座 (R3: 9 講座) 料理、お菓子、アロマ、フラワーアレンジメントなど ・人物歴史講座: 3 回 (R3: 3 回) 歴史上の人物の生き様やエピソードを通じて、歴史・人生観を学ぶ。 ・筑紫野市日本語教室ボランティア入門: 2 回 (R3: 2 回) 外国人との接し方や日本語指導のスキルを学び、日本語教室のボランティアスタッフを目指す。 <p>◆受講者数 総延 478 人 (R3: 578 人)</p>
<p>成果・課題</p>	<p>○めざす姿にむけて、各種講座を実施。</p> <p>○自治公民館主催講座・コミュニティセンター主催講座</p> <p>新型コロナウイルス感染症による休館・休講期間を除き、可能な限り講座を開催したことが、充足度の上昇につながったと考えられる。今後は、充足度維持のため、講座内容のニーズはもとより、オンラインなどの講座手法についても検討していく。</p> <p>○ちくしの高年大学</p> <p>見直しに向けて受講生の意見を聞くため、アンケートを行った。今後の高齢者を対象とする学習支援のあり方について検討を行っていく。</p> <p>○ちくしの文化講座</p> <p>令和 2 年度まで定期講座として開催していた英会話やギターなど 8 講座は、生涯学習センター利用登録団体へ移行し、自主的</p>

	<p>な活動が始まっている。令和 4 年度より、短期講座もすべて自主的な活動に移行した。</p> <p>コロナ禍でデジタルディバイド解消を念頭に、パソコン、スマホ講座を数多く開催していく。</p> <p>「筑紫野市日本語教室ボランティア入門」の受講生の中には、受講後に日本語教室でボランティアスタッフとして活動する人もおり、ボランティア養成につながった。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	生涯の学びを地域で活かせる人づくり
めざす姿	市民自らが地域活動や学習活動を主体的に推進し、人材育成と地域交流ができるようになっていきます。
目標のあるべき姿	地域で活動する人材の育成人数が 4,718 人以上となっています。また、生涯学習ボランティア新規登録数が 72 人以上となっています。また、自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数が 513 人以上になっています。
目標の状況	地域で活動する人材の育成人数（人）
	R3 3,368 R4 6,178
	生涯学習ボランティア新規登録数（人）
R3 16 R4 30	
自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体数（人）	
R3 364 R4 353	

主な取組	人材育成と地域交流の推進
具体的な取組	<p>○家庭教育事業は、学校で学ぶことの意義も踏まえながら、コロナ禍での学習方法や参加しやすい運営手法を検討する</p> <p>○ボランティアの派遣・紹介事業については、ボランティアバンクの会と共に、持続可能な事業手法について検討する</p>
実績	○はぐくみキャンパス（家庭教育事業）

	<p>「家庭教育学級」 学級数: 14 学習会回数: 47 回 (R3 学級数: 14 学習会回数: 42 回)</p> <p>「つぼみカフェ」 参加人数: 16 人 学習会: 2 回 (R3 参加人数: 23 人 学習会: 3 回)</p> <p>○ボランティアバンクの会 ボランティアバンク登録者数等 ・登録者数:個人 335 人 (R3: 343 人) :団体 18 (R3: 21) ・派遣件数: 82 件 (R3: 54 件) ・ボランティア活動者数:のべ 549 人 (R3: 299 人) ・市民利用者数:のべ 22,483 人 (R3: 10,055 人)</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、学習会の開催やボランティアバンクの会と事業を推進。</p> <p>○教育事業 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、学校以外での学習とし、学びをつなげることができた。学校で学ぶことの意義も踏まえながら、引き続き会場や手法を検討する。</p> <p>○ボランティアバンクの会 新型コロナウイルス感染症のため、休止期間が発生した。コロナ禍での安全なボランティアの派遣・育成事業の手法について検討を継続する。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	異文化理解の推進		
めざす姿	異文化を理解し、国際性豊かな市民となっています。		
目標のあるべき姿	国際交流が推進されていると思う市民の割合が 26.7%以上となっています。		
目標の状況	国際交流が推進されていると思う市民の割合 (%)		
	R3	19.2	R4 24.1

主な取組	異文化交流の推進
具体的な取組	<p>○「BRIDGE KIDS PROGRAMS (BRIDGE Summer Camp)」は、コロナ禍での実施が難しいため、今後の事業の継続について検討を行う</p> <p>○日本語教室のボランティアスタッフを拡充するため、日本語ボランティア人材の育成に向けた講座を実施する</p>
実績	<p>○BRIDGE KIDS PROGRAMS～BRIDGE Summer Camp～ ※新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催。</p> <p>○筑紫野市日本語教室「ワイワイ日本語ちくしの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催: 39回 (R3: 21回) ・ボランティアスタッフ 平均 13人/回 (R3: 8人/回) ・外国人学習者 平均 9人/回 (R3: 5人/回)
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍でもできる日本語教室を実施。</p> <p>○BRIDGE KIDS PROGRAMS～BRIDGE Summer Camp～ アジア各国からの参加者という点で、コロナ禍での事業参加は困難であり、コロナ禍の状況を踏まえ、今後の事業への関わり方について検討する。</p> <p>○筑紫野市日本語教室「ワイワイ日本語ちくしの」 文化講座と連携し、日本語教室のボランティアスタッフを拡充している。</p> <p>今後はボランティアスタッフの育成と受講生の募集について注力していく。</p>
担当課	生涯学習課

基本事業名	社会教育施設の充実				
めざす姿	安全で快適に学ぶことができる施設となっています。				
目標のあるべき姿	社会教育施設の満足度が88.0%以上となっています。				
目標の状況	<p>社会教育施設の満足度 (%)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">R3</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">85.2</td> <td style="width: 25%;">R4</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">85.9</td> </tr> </table>	R3	85.2	R4	85.9
R3	85.2	R4	85.9		

主な取組	安全・安心な学習施設の整備促進
具体的な取組	○日常的に点検等を行うことで施設の状態を把握し、利用者が安全かつ安心して利用できるように学習施設の維持に必要な整備・補修等を行う。
実績	○日常的に点検等を行い、修繕等を行った。また、公共建築物等長寿命化計画に基づき、年2回の定期点検及び年1回の劣化度調査を行った。
成果・課題	○めざす姿にむけて、日常的に点検を行い、施設の老朽箇所等の修繕ができた。施設の経年劣化が進んでいるため、今後計画的な修繕について検討する。
担当課	生涯学習課

主な取組	老朽化した機械設備等の計画的な更新
具体的な取組	○老朽化による機械設備の不具合については、優先度等をもとに、計画的な機械設備等の更新を行う
実績	○日常的に点検等を行い、電気設備、機械設備等の修繕を行った。
成果・課題	○施設の設備全般が耐用年数を経過しているため、今後計画的な設備更新に向けて検討する。
担当課	生涯学習課

主な取組	学習施設の効果的な管理・運営
具体的な取組	○予約管理システムについては、システムの維持と利便性の向上に繋がるよう更新を行う
実績	○予約管理システムの更新を行った。
成果・課題	○予約管理システムの更新により、利便性の向上を図ることができた。
担当課	生涯学習課

基本事業名	読書活動の推進
めざす姿	本に触れる機会や読書を通じて学ぶ機会が増加しています。
目標のあるべき姿	市民図書館の年間利用者数が 195 千人以上となっています。また、図書館の設備・資料の満足度が 89.0%以上となっています。
目標の状況	市民図書館の年間利用者数（人）
	R3 148,600 R4 186,226
目標の状況	図書館の設備・資料の満足度（%）
	R3 87.8 R4 85.1

主な取組	市民図書館における読書環境の整備と図書資料の充実
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備更新による施設の機能改善・維持に努める ○図書資料・視聴覚資料の定期的購入に努める ○図書資料の相互貸借（県・他自治体）を活用し、利用者サービスの充実に努める ○郷土関係図書資料の充実に努める ○各年代層への図書館イベントの周知に努める ○電子図書館を導入し、図書のサービス向上や、障がい者への合理的配慮の向上に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年9月電子図書館サービススタート <ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借貸出 1,585 冊、借受 947 冊 (R3 年度 1,743 冊、借受 1,159 冊) ・郷土資料蔵書冊数 1,615 冊 (R3 年度 1,516 冊) のうち、「郷土の作家コーナー」資料 380 冊 (R3 年度 307 冊) ・子どもの読書関連イベント（夏・冬）、読書推進講演会、読書推進関連イベントを実施
成果・課題	<p>めざす姿に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高圧受電設備を更新し、施設の機能を維持することができた。 ○電子図書館の導入により、コロナ禍においても利用機会の拡大することができた。 ○郷土資料の購入と寄贈により資料が充実した。

担当課	文化・スポーツ振興課
主な取組	子どもの読書活動の推進 ※子どもの読書活動の推進に関する法律第9条2項に規定する子ども読書活動推進計画としての取り組み
具体的な取組	○学校図書室への配本サービスの利用を実施し、子どもの読書活動の推進に努める ○小中学校向け読書活動推進事業や学校図書司書研修会を実施し、学校図書室の支援に努める ○ブックスタートやおはなし会など定期開催の読書イベント実施し、子ども達が本に触れ合う機会を提供する
実績	○学校向け配本サービス 貸出冊数：1,190冊 ※R4年12月現在（R3年度1,172冊） ○学校図書司書情報交換会を実施 ○ブックスタート：定例開催日は規模を縮小し実施 参加率：全対象者1,395名のうち676名の48.5% ※R4年12月現在（R3年度46.9%）
成果・課題	○学校向け配本サービス：学校が必要とする本を配本できた。 ○ブックスタート：コロナ禍であっても、イベント内容を簡略化し、開催することができた。 ○学校図書室の支援充実に向けて、定例会の開催や読書活動イベントを開催するなど連携を強化する。
担当課	文化・スポーツ振興課

目標 6 歴史・文化の継承と振興

【めざす姿】

市の歴史・文化に関心を持つ市民が多くなっています。
歴史・文化・芸術活動に多くの市民が取り組んでいます。

基本事業名	文化財の保護
めざす姿	文化財が適切に保護されています。
目標のあるべき姿	市内の文化財指定数（累計）が 43 件以上となっています。
目標の状況	市内の文化財指定数（累計）（件） R3 39 R4 39

主な取組	文化財指定の推進によるその保護と継承
具体的な取組	○地域に存在する未指定文化財の把握に努める
実績	○新規の文化財指定を追加することができなかった。
成果・課題	○めざす姿にむけて、市内の未指定文化財の調査に取り組んでいるが、多岐にわたる文化財の調査等に時間を要しており、指定件数の増加は進捗していない。 今後は、調査を計画的に遂行し、文化財指定を推進するよう取組む必要がある。
担当課	文化財課

主な取組	文化財の保護とその公開及び活用
具体的な取組	○発掘調査を遂行し、その記録を作成し公開する
実績	○各種開発事業に伴い、①筑紫氏居館跡（第 6 次：筑紫）、②常松遺跡（第 9 次：常松）、③大ノ町遺跡（第 1 次：二日市西）、④野黒坂遺跡（第 7 次：針摺東）、⑤大宰府条坊跡（第 347 次：塔原東）の発掘調査を実施した。 ○柚ノ木遺跡第 2・3 次調査、常松遺跡第 6・7・8 次調査の発掘

	<p>調査報告書を刊行した。</p> <p>○歴史博物館では12件の文化財の寄贈を受け保存した。</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、発掘調査を実施し、その記録作成を行った。</p> <p>○めざす姿にむけて、報告書刊行計画に基づき計画的な報告書作成に取り組んだ。</p> <p>今後は、業務全体の調整を行い、各取組みのバランスに配慮する必要がある。</p> <p>○世代交代に伴い家庭に眠る文化財が処分されている恐れがある。</p> <p>○歴史博物館の収蔵スペースは、ほぼ満杯であるため、今後の受入れが困難になる恐れがある。</p>
担当課	文化財課

主な取組	地理情報システムによる管理の充実
具体的な取組	○開発行為等により破壊される恐れがある埋蔵文化財に対し、事前協議を行い適切な保護措置を講じる
実績	<p>○埋蔵文化財の窓口相談1,926件に対応し、223件の事前協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談件数（参考） 令和3年度：1,620件、令和2年度：1,139件、令和元年度：833件、平成30年度544件 ・事前協議件数（参考） 令和3年度：174件、令和2年度：179件、令和元年度：212件、平成30年度：160件
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、開発等に伴う埋蔵文化財に関する窓口相談や事前協議に迅速に対応できている。特に、新規案件に対して、過去の調査履歴などの概要を迅速に確認することができ、適切な対応が取れている。</p> <p>今後は、現在までに18,384件（令和3年度は16,235件）登録している開発事前協議の膨大なデータの累積や、平成20年の導入以後システムの更新がなされていないことによる不具合を</p>

	回避し、個々の詳細な事績管理を導入するなど、システム改修等により継続的に管理していくことが必要である。
担当課	文化財課

基本事業名	文化財の整備と活用
めざす姿	史跡等が総合的に整備され、文化財に触れることができるようになっています。
目標のあるべき姿	市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数（累計）が 10 箇所以上となっています。
目標の状況	市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数（累計）（箇所） R3 9 R4 11

主な取組	計画的な文化財の整備と活用の推進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な指定文化財等の保存整備及び維持管理に努める ○多くの方々に来訪してもらえよう、国指定史跡五郎山古墳の整備活用の効果を高める ○市内の文化財について、計画的に解説板の設置・修理等を実施し、市公式ホームページや広報などでも情報発信に努める ○日本遺産に関する情報について、さらなる発信に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○指定文化財等の適切な保全を図るため、地元の史跡保存団体などへ草刈等の日常的な管理を委託し、維持管理が行われた。 ○大雨等の災害時に、文化財パトロールを 3 回実施し、また史跡地内の倒木や軽微な復旧等の処理を行った。 ○五郎山古墳の活用と認知を高める取組み <ul style="list-style-type: none"> ・五郎山古墳ブースで装飾古墳に親しもう！ パープルプラザフェスタ 10月22日（土）23日（日） 来場者数 237 人 ・夏の装飾古墳アート in 博物館 8月5日（金）7日（日） 参加者 20 人

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント in 五郎山古墳館 参加者 313 人 ・五郎山古墳 P R チラシの作成と配布 2000 枚 ・九州古墳カードの配布 7 月～令和 5 年 3 月 1,126 件 <p>○史跡等解説板の改修と設置を行った 3 件 (長者の藤、山家宿西構口および土塚、堀池遺跡)。</p> <p>○日本遺産に係る情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館ロビー展 通年 ・パンフレットの作成と配布 3000 枚
成果・課題	<p>○史跡地等の草刈・除草・搬出、清掃美化を実施し、適切に管理されているが、経費の削減により、各所年間 3～4 回の維持管理作業に留めざるを得ない状況がある。</p> <p>○近年、大雨などの災害により史跡等の法面崩壊などが大規模に発生し、その対応に当たる人員に限られている。自然災害への早急な対応のため、柔軟な職員配置が必要である。</p>
担当課	文化財課

基本事業名	歴史学習の機会提供			
めざす姿	市や地域の歴史・文化を学ぶことができるようになっています。			
目標のあるべき姿	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数が 26,975 人以上となっています。また、歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数が 2,677 人以上となっています。			
目標の状況	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数（人）			
	<table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>5,300</td> <td>R4</td> <td>12,100</td> </tr> </table>	R3	5,300	R4
R3	5,300	R4	12,100	
	歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数（人）			
	<table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>1,243</td> <td>R4</td> <td>3,150</td> </tr> </table>	R3	1,243	R4
R3	1,243	R4	3,150	

主な取組	学習支援の充実
具体的な取組	○歴史博物館において郷土の歴史や文化に関する企画展や講座を実施する

	<p>○歴史博物館の貸出資料をパッケージ化し、学校や地域の歴史学習の場へ貸出しする</p> <p>○学校や地域の歴史学習の場へ学芸員を派遣する</p> <p>○SNS を利用した歴史学習の機会提供を行う</p> <p>○歴史文化に関する団体やボランティアの育成、支援に努める</p>
<p style="text-align: center;">実 績</p>	<p>○郷土の歴史や文化に関する企画展や講座を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 4 回 入館者数 8,038 人 ・ロビー展 8 回 ・しっとこ九博（展示解説講座）4 回 参加者数 109 人 ・文化財職員による歴史講座「文化薫道」7 回 参加者数 221 人 ・ぶらりちくしのウォーキング 2 回 参加者数 14 人 ・夏の装飾古墳アート in 博物館 2 回 参加者数 20 人 ・夏のイベント in 五郎山古墳館 参加者 313 人 ・五郎山古墳ブースで装飾古墳に親しもう！ パープルプラザフェスタ 来場者数 237 人 <p>○歴史博物館の貸出資料をパッケージ化し、学校や地域の歴史学習の場へ貸出しする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵寺縁起絵図セット 3 回 113 人 地域の講座で活用 ・五郎山古墳の壁画に学ぼうセット 3 回 86 人 小学校五郎山見学 1 校 夏の装飾古墳アート in 博物館 2 回 ・山家岩戸神楽セット 8 校 732 人 ・七郎兵衛と鉄砲用水セット 4 校 322 人 ・昔の道具 7 校 744 人 ・4 公立保育所への戦時資料の貸出 15 点 ・収蔵資料の貸出 29 件 204 点 ・写真資料の貸出 57 人 287 点 ・資料閲覧複写 72 人 166 点 <p>○学校や地域の歴史学習の場へ職員を派遣する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域等への講師の派遣 24 件 1,221 人

	<ul style="list-style-type: none"> ・筑紫平和祈念館への職員派遣 7件 233人 <p>○SNS を利用した歴史学習の機会提供を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の展示を楽しもう！ 6回 90人 ・ごきげんよう！考古学（Twitter）24回 1,588人 <p>○歴史文化に関する団体やボランティアの育成、支援に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館ボランティア活動 26回 134人 うちボランティア対象講座等 7回 58人 ・博物館登録団体の活動支援 つくし郷土史会 9回 185人 古文書を読む会 40回 258人 ・その他歴史学習団体の支援 4回 71人 ・問い合わせ対応 362人
<p style="text-align: center;">成果・課題</p>	<p>○企画展4回やロビー展8回、講座については新たに文化財職員による歴史講座を実施し、年間を通じて地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>○貸出用パッケージ資料については、新たに小学4年生の社会科の単元「市の発展につくした人々」から「七郎兵衛と鉄砲用水」を製作しさらに充実を図ることができた。</p> <p>○学校や地域の歴史学習の場へ学芸員を派遣することができた。</p> <p>○SNS で学ぶ郷土の歴史と文化事業では、考古学に関する学習情報を発信することができた。</p> <p>○歴史文化団体及び博物館ボランティアへ、会場の提供や活動を支援することで、郷土の歴史文化を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>○歴史学習の機会提供については、コロナ禍の経験を活かし、支援のあり方について、さらに検討し充実させる必要がある。</p> <p>○学校や地域など、館外で学習の機会を提供できるよう貸出資料のパッケージ化やSNS等を利用した学習支援等について、さらなる充実を図る必要がある。また、現在、未実施である未就学児とその保護者に対して、郷土の歴史に触れる機会を、どのように提供できるかの検討も必要である。</p>
<p style="text-align: center;">担当課</p>	<p>文化財課</p>

基本事業名	文化・芸術活動の推進		
めざす姿	文化・芸術の鑑賞などにより、豊かな感性が育まれています。		
目標のあるべき姿	子育て世代の親子を対象とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数が1,130人以上となっています。また、文化会館を拠点とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数が7,676人以上となっています。		
目標の状況	子育て世代の親子を対象とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数（人）		
	R3	— (イベント中止)	R4
目標の状況	文化会館を拠点とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数（人）		
	R3	1,318	R4

主な取組	文化・芸術の振興		
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○文化・芸術に関わる人や団体が活動し発表できる機会の提供に努める ○学校教育における文化・芸術に触れる機会の創出に努める ○文化・芸術情報の発信に努める 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○文化活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ちくしの芸術祭（会場提供・イベント準備）への支援 日時：令和5年3月4日（土）～5日（日） 福岡Ⅱブロック「芸術の祭典」への支援 日時：令和4年10月22日（土）～23日（日） ○学校教育における県主催事業などの情報提供 		
成果・課題	○感染防止対策を講じた中での文化・芸術イベントの開催 (コロナ禍において活動を発表できる機会を提供できた。)		
担当課	文化・スポーツ振興課		

主な取組	人形劇のあるまちの推進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちくしの人形劇まつり」の継続実施を目指す ○コミュニティセンターなどでの地域公演の支援に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ちくしの人形劇まつりの開催 参加人数の制限などの感染防止対策を講じ開催 日時：令和4年11月12日（日） 参加者人数：135人
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○3年ぶりにイベントを開催することができた。 （参加者の満足度は高かった。） ○縮小したイベントの今後の在り方を検討。
担当課	文化・スポーツ振興課

主な取組	文化会館を拠点とした文化・芸術活動の促進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館をプラットフォームとした文化・芸術活動主体との連携に努める ○計画的な施設の長寿命化対策に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館との連携 文化・芸術イベントの開催 ○筑紫野市市制施行50周年記念事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんといっしょ宅配便「ファンターネ！ 小劇場」 日時：令和4年10月22日（土） 参加者人数：1,214人 ・市民ミュージカル「パーパス！ ～森の王様とつくしの子どもたち～」 日時：令和4年9月17日（土）～18日（日） 参加者人数：660人 ・名曲コンサート・スペシャル『祝祭』 日時：令和4年11月20日（日） 参加者人数：463人
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○3年ぶりに施設利用を中止することなく開催することができた。 ○コロナ禍での文化・芸術活動の推進。

	○施設の長寿命化対策 計画的な大規模改修が必要。
担当課	文化・スポーツ振興課

目標 7 スポーツ・レクリエーションの推進

【めざす姿】

スポーツ・レクリエーション活動をする市民が増えています。

基本事業名	スポーツ施設の充実
めざす姿	スポーツ施設の充実により、スポーツをする環境が整っています。
目標のあるべき姿	スポーツ施設満足度が 70.0%以上となっています。
目標の状況	スポーツ施設満足度 (%) R3 69.7 R4 67.3

主な取組	スポーツ施設・整備の充実
具体的な取組	○計画的な改修工事と保守作業を実施し、良好な施設の状態を維持する ○計画的に機器を更新し、設備の充実に努める
実績	○山口小学校、天拝小学校のバスケットゴールリングの補修。 ○むさしヶ丘グラウンドのネット補修工事。
成果・課題	○めざす姿にむけて、バスケットゴールの改修を行うことで、利用時の安全性を確保できた。老朽化の進んだ施設・設備が多いことから、今後も計画的な改修について検討する。
担当課	文化・スポーツ振興課

主な取組	施設の管理・運営の効率化
具体的な取組	○指定管理者により質の高いサービスを提供する
実績	○指定管理者の更新を行った。
成果・課題	○めざす姿にむけて、指定管理者との定期的な協議の場を設け懸案事項の共有化を図ることで、より質の高いサービスを継続して提供できた。 今後も施設の有効活用と利用者の拡大を図るため、指定管理者

	との協議を継続し、より質の高いサービス提供に努める。
担当課	文化・スポーツ振興課

基本事業名	年齢や体力に応じたスポーツの振興
めざす姿	市民の年齢や体力に応じたスポーツをする機会が充実しています。
目標のあるべき姿	スポーツをする機会が充分だと思う市民の割合（18歳以上65歳未満）が91.0%以上、（65歳以上）が92.0%以上となっています。学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合が54.8%以上となっています。また、親子でスポーツをしている市民の割合が52.6%以上となっています。
目標の状況	スポーツをする機会が充分だと思う市民の割合（人） ①（18歳以上65歳未満）②（65歳以上） R3 ①89.6 ②89.9 R4 ①89.4 ②87.7
	学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合（%） R3 52.1 R4 50.0
	親子でスポーツをしている市民の割合（%） R3 49.5 R4 41.9

主な取組	スポーツ普及活動の推進
具体的な取組	○スポーツイベントの定期的な開催、スポーツの普及活動の支援 ○地域スポーツイベントの支援
実績	○「いきいきニュースポーツ広場」 日時：6月19日（日） 参加者人数：59名 ○「筑紫野市民水泳大会」 日時：7月3日（日） 参加者人数：89名 ○「レク式運動能力チェック講習会 親子ふれあい運動あそび」 日時：8月7日（日） 参加者人数：20名 ○「各小学校区市民体育祭、スポーツイベント」

	<p>開催場所：8校区</p> <p>○「スポレクフェスタ2022 第17回ペタンク大会」 日時：10月30日（日） 参加者人数：1,497名</p> <p>○「天拝山ロードレース大会」 日時：11月27日（日） 参加者人数：460名</p> <p>○「筑紫野市駅伝大会」 日時：2月5日（日） 参加者人数：175名</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、3年ぶりに各種スポーツイベントを開催できたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策で参加人数の制限を行ったため、例年より参加者が減少した。また、市民体育祭等も開催が見送られる地域があった。</p> <p>今後もイベント内容を見直す等、スポーツに関心を持ってもらう機会の提供に努める。</p>
担当課	文化・スポーツ振興課

主な取組	体育施設の利用促進
具体的な取組	○学校体育施設を開放し、スポーツが行える場所を提供する
実績	<p>○学校プール施設開放 日時：7月21日～8月10日の18日間 参加人数：8,895名 各小中学校施設開放（通年）</p>
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を徹底することで学校体育施設を継続して開放することができ、運動できる環境を提供することができた。</p> <p>今後も体育施設の維持管理に努め、スポーツが行える場の提供に努める。</p>
担当課	文化・スポーツ振興課

基本事業名	指導者・ボランティアの養成			
めざす姿	スポーツ・レクリエーションの指導者・ボランティアが養成され、市民や地域のニーズに対応できるようになっています。			
あるべき姿	養成講座により養成された指導者・ボランティアの数が364人以上となっています。また、スポーツ・レクリエーション指導者数（有資格者）が233人以上となっています。また、スポーツ・レクリエーション指導者の充足度が60.0%以上となっています。			
目標の状況	養成講座により養成された指導者・ボランティアの数（人）			
	R3	86	R4	187
	スポーツ・レクリエーション指導者数（有資格者）（人）			
R3	179	R4	219	
スポーツ・レクリエーション指導者の充足度（%）				
R3	54.7	R4	58.0	

主な取組	指導者・ボランティアの養成
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者養成講座の開催 ○スポーツ推進委員を地域に派遣し、指導者の充足度を高める ○ボランティアを活用し、現場での指導者不足解消に努める
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○「生涯スポーツセミナー」 日時：6月4日（土） 参加者人数：108名 ○「レクリエーション講習会」 日時：5月26日（水）、6月2日（水）、6月9日（水） 延べ参加者人数：59名 ○「スポーツ推進委員研修会」 日時：4月17日（日） 参加者人数：20名
成果・課題	<p>○めざす姿にむけて、講習会や研修会などの取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により人数制限等を行ったため、例年より参加人数が減少した。</p> <p>今後はオンライン等も活用し、一人でも多くの参加者が受講できる環境整備に努める。</p>

担当課	文化・スポーツ振興課
------------	------------

主な取組	スポーツ情報の発信・提供
具体的な取組	○地域のスポーツ団体の情報提供
実績	○各コミセンや小・中学校へ現在活動中の団体資料を提供。 ○各団体の活動状況の問い合わせに対し、適宜対応。
成果・課題	○めざす姿にむけて、団体の活動状況について適宜、周知することができた。 今後においても引き続きスポーツ情報の提供に努める。
担当課	文化・スポーツ振興課

教育委員会点検・評価報告に関する意見

山口短期大学 井口 司

1. はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、筑紫野市教育委員会が令和4年度に実施した事業について点検・評価したものをまとめたものである。前出の法律第26条の2項には、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあり、昨年度に引き続き今年度も私が学識経験を有する者に任じられ、ここに報告された内容について意見を述べるものである。

2. 全体を通して

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で筑紫野市教育委員会の事業の一部が中止あるいは制約を受けるなどしているが、多くの事業では感染防止対策を講じながら実施できており、コロナ禍前のような成果が表れている。

さて、この報告書には、筑紫野市教育委員会が第6次筑紫野市総合計画及び教育政策大綱をもとに教育振興基本計画で示した施策を具現化するために組織としてどのような取り組みを行ったかが明らかにされている。施策の点検・評価については、目標、基本事業名、めざす姿、目標のあるべき姿、目標の状況、主な取組、具体的な取組、実績、成果・課題、担当課の項目で構成され、教育委員会の各部署が責任と役割を担って、施策の実現に向けて鋭意努力していることがわかる。

全体的に感じたことは、前回と同様に筑紫野市教育委員会の組織としての力である。本市の教育振興基本計画が形式的なものでなく、その実現に向けて各部署が具体的な施策を通して組織的、計画的に事業が遂行されていることを高く評価したい。

3. 施策の点検・評価についての見解

【目標1 人権尊重のまちづくり】

人権尊重のまちづくりは、筑紫野市としてもっとも力を入れている事業である。本事業としては、学校を対象とした事業、推進体制に関する事業、市民を対象とした事業が行われている。

学校を対象とした事業では、市内の全小中学校で社会科学習カリキュラムを活用した授業が実施されており、そのことが児童生徒の人権意識の向上につながっている点は評価したい。学校において差別発言が昨年度より減少しており、児童生徒自身が差別発言に対する認識を高めていることはよい傾向である。今後とも子どもや保護者への人権感覚の啓発についての取り組みを期待したい。

人権・同和教育の推進体制の中で筑紫野市同和教育研究会は、大きな役割を果たし

ている。今後とも同研究会との連携を密にしながら、市職員及び学校関係者に対して人権・同和教育の理念や実践の価値を継続的に発信することは重要である。

市民を対象とした事業では、毎年行われている市民懇談会や同和問題講演会が今年度は開催できており、人権・同和問題に対する市民啓発としての貴重な機会となっている。同和問題啓発冊子「解放への一步」、広報ちくしの「人権問題特集号」、人権作文集「くさび」は予定どおり発行され、それぞれに人権・同和問題啓発の読み物として一翼を担っている。編集においても、今回は新たな人権課題として「コロナ差別」を取り上げるなど工夫がみられる。また、「人権尊重のまちづくりサポーター養成講座」も開催され、市民をあげて人権尊重のまちづくりを実現していこうとする意気込みが感じられる。

【目標2 子育て支援の推進】

放課後児童クラブのニーズは、近年高まりを見せている。本市においても利用児童は1,000人を超えている。この放課後児童クラブで待機児童を生じさせないことや、子どもたちが安全に過ごせるよう配慮していることにも注目したい。本市ではこの事業をNPO法人ちくしっ子ネットワークに委託しており、運営上の課題について教育委員会がクラブ運営の支援を行っていることは高く評価したい。放課後児童クラブの利用児童の増加に伴い、保育環境の整備のために教育委員会が調整役となり、学校施設の活用が進められているのは良い例である。

【目標3 学校教育の充実】

学校教育に関する事業としては、施設整備に関する事業、教職員に関する事業、児童生徒に関する事業、その他学校と地域との協力体制や就学援助に関する事業が行われている。

施設整備に関しては、「学校施設管理マニュアル」をもとにした日常的な点検・修理や、年2回の「定期点検」及び年1回の「劣化調査」により、各学校や給食調理場の施設が適切に整備されている。最近、学校の外壁が崩落して児童がけがをするなどの報道がなされており、今後とも学校の施設・設備の安全点検は細心の留意を必要とする。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止についても報告書に記載があり、検温や手指の消毒など感染防止対策が市内の小中学校が徹底されていることがうかがえる。

教職員の研修については筑紫野市独自の研修がオンデマンドや対面形式で計画的に実施されている。教職員の資質向上を図る上でこのような研修は有意義であり、しだいに通常の研修のスタイルに戻りつつあることは望ましい。

筑紫野市の指導主事を招聘した校内研修会の回数が減っているが、各学校が自校の研究テーマに合わせて講師を招聘している場合もあり、こうした実態把握にも努めてほしい。一方で、指導主事が初任者教諭を対象に個別に指導助言をしている実態があ

り、教育委員会の各学校への積極的な関わりを評価したい。

児童生徒の学力の把握については、国、県、市とでそれぞれに学力調査が行われているが、本市の児童生徒の学力の実態や課題を明らかにするためにも学力調査の結果や分析に関する具体的な記述がほしい。

児童生徒の学力向上のためには家庭学習の定着は欠かせない。その手立てとしてコミュニティ・スクールの仕組みを活用している点は評価したい。今後も学校、家庭、地域ぐるみで家庭学習の習慣化やその醸成に向けた取り組みを期待したい。

ICT教育についてはこの数年でひとり一台のタブレットを持つことができるよう環境整備が進んでいる。「成果と課題」にあげられているよう、タブレットを有効に活用した授業が見られる反面、タブレットの使用が目的となっている授業も見受けられるとの課題もある。ICT教育は今後もますます進展することが想定されており、ICT機器の利活用については授業の本質に立ち返りながら、学校現場と一体になってよい事例を積み上げていく必要がある。

児童生徒の豊かな心の育成に関する事業では、いじめと不登校に関するものと読書に関するものが報告されている。筑紫野市教育委員会では市内小中学校に対していじめアンケートや不登校児童生徒についての調査も丁寧に行われており、その結果や現状をもとに分析が行われるといじめや不登校の具体的な実態や課題が明らかになると思う。また本市は、生徒指導に関する相談員をはじめスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど相談体制の充実が顕著になっている。そうした状況もあり、今年度はスクールソーシャルワーカーの相談件数が大幅に増加している。年々課題を抱える児童生徒やその保護者が増える中、組織的な相談体制の維持に努めてほしい。

子どもたちの豊かな心を育む上で読書の役割は大きい。その意味で、学校図書館を充実させることは重要である。本市では全小中学校に学校司書を配置しており、学校司書の存在は、児童生徒の読書活動を充実させる上で大きな力になっている。

健やかな体の育成に関する事業として「体力向上プラン」及び「体育・健康・食に関する指導計画」が挙げられている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響や熱中症対策など運動面で制約がある中で、計画的に体力の向上に向けた取り組みができたことは評価したい。

特別支援教育の推進においては、個別の教育支援計画及び指導計画の作成は有効な手立てである。これについて、教育委員会が各小中学校に対し適切に指導を行っている点やこれらの計画書の作成数が増えている点は評価できる。特別に支援が必要な児童生徒が増加傾向にある中で、今後とも一人一人のニーズに合わせた教育支援の実現に努めてほしい。

地域との協力体制の事業では、コミュニティ・スクールの充実が挙げられている。各学校のコミュニティ・スクールの活動状況を把握する上で教育委員会の職員が学校運営協議会に出席することは高く評価できる。また、このことは教育委員会がめざす

地域学校協働活動への移行にもつながる。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で学校運営協議会の開催が十分ではなかった面もあるが、地域とともにある学校づくりは学校及び地域の活性化につながる有効な取り組みであり、さらに発展させてほしい。

就学支援事業として就学支援制度や奨学金制度等が活用されている。小中学校では対象者が1,000人を越え、就学支援制度が広く活用されている。教育委員会や各学校が対象の保護者にこの制度を周知している表れである。一方、奨学金制度等については対象者が6人である。実際には経済的な支援を必要とする家庭は潜在的に存在している。この制度の趣旨や活用について関係者を通じて徹底させたい。

【目標4 青少年の健全育成】

青少年の健全育成のための事業については、コロナ禍の中にも関係団体が創意工夫しながら事業の継続に努めていることがうかがわれる。近年「地域子ども会」については、子ども会の入会者が少ないという現状がある。そこで、筑紫野市が補助金を交付や子どもリーダー養成など、地域子ども会の育成に力を注いでいることは評価したい。子どもの活動ということでは、各地区のコミュニティセンターの子ども向けの活動をさらに充実させることを提案したい。

青少年の健全育成のための環境浄化活動については、青少年指導員及び少年補導員の活動は欠かせない。今年度もコロナ感染症のため市内一斉パトロールが中止になっているが、所属地でのパトロールは実施されている。これら関係者及び関係機関が連携して青少年の非行防止のための活動を継続してほしい。

ヤングテレフォン相談については青少年の相談件数が288件あり、この事業も定着してきている。引き続き、青少年の悩み相談の窓口として役割を果たしてほしい。

【目標5 生涯学習・社会教育の推進】

生涯学習・社会教育の推進の事業では、コロナ禍であっても創意工夫しながら事業継続が図られている。特に、自治公民館主催事業やコミュニティセンター主催事業は参加者数が増加しており、市民の学びの場となっている。また、ちくしの文化講座は、自主的な活動へと発展しているところが注目に値する。

家庭教育事業は、昨年度と同様に事業が開催され、子どもを持つ保護者にとって学びの場の確保につながっている。異文化交流事業については、筑紫野市日本語教室の開催日数が増え、日本語を学ぶ外国人にとって貴重な学びの場となっている。

社会教育施設については、日常的な点検及び修繕が行われており、老朽化に伴う措置が適切に行われている。ただ、施設の多くが耐用年数を超過しているとの指摘があり、計画的な改修が望まれる。

市民図書館の事業は市民の豊かな読書生活の一翼を担っている。市民図書館の利用者が年間20万人近くに上っていることはその証である。今年度は、昨年度以上に郷土

資料蔵書や郷土の作家コーナーの充実が図られていることに注目したい。また、子ども読書活動のために、市民図書館の学校向け配本サービスがある。今年度は貸出冊数も増加し、この事業の充実ぶりがうかがえる。今後とも市民にとって魅力ある図書館づくりを期待している。

【目標6 歴史・文化の継承と振興】

歴史・文化の継承と振興の事業として文化財の保護、文化財の整備と活用、歴史学習の機会提供、文化・芸術活動の推進についてそれぞれ事業が行われている。

文化財の保護については開発行為から文化財を守るために窓口相談や事前協議が迅速に行われていることは評価できる。今年度の窓口相談は1900件を超え、その数は年々増えている。これは開発業者の文化財に対する意識の高まりとともに、本市には多くの文化財が埋蔵されている可能性を秘めているからであろう。また、各種開発事業にともない多数の発掘調査がなされている。発掘調査等には多くの時間と労力を費やすことにはなるが、一方で「歴史のまち・筑紫野市」をアピールすることにもなる。

文化財の整備についても委託業者を活用しながら効率的に管理が行われている。文化財の活用として「五郎山古墳ブースで装飾古墳に親しもう」や歴史講座「文化薫道」などをテーマにした歴史博物館におけるロビー展示は興味をそそられる。

歴史学習への機会提供としては、学芸員の派遣、学校への学習支援、ボランティアや歴史団体への支援、ロビー展示や企画展、貸出資料のパッケージ化などさまざまな形で行われている。特にパッケージ資料では、「七郎兵衛と鉄砲用水」の製作は小学4年の社会科の貴重な教材となる。歴史を学ぶ上で筑紫野市歴史博物館の役割は大きい。今後とも魅力ある企画や展示を期待している。

文化・芸術活動については、新型コロナの感染防止対策を講じながら3年ぶりに文化・芸術活動が再開できていることが喜ばしい。「ちくしの人形劇まつり」や筑紫野市市制施行50周年記念事業における演劇、ミュージカル、コンサートなどの開催は文化・芸術の香りが筑紫野市に戻ってきたことを実感する。なお、本市の文化活動の拠点である文化会館の老朽化に伴う大規模改修は今後も計画的に進めていく必要がある。

【目標7 スポーツ・レクリエーションの推進】

スポーツ・レクリエーションの推進に関する事業としてスポーツ施設の整備事業、スポーツイベントの事業、指導者養成事業が計画されている。

スポーツ施設は利用者が安全に施設を利用できるようにすることが重要であり、計画的な改修や日々の施設管理は欠かせない。その点、本市では計画的かつ適切な運用がなされている。また、スポーツの提供の場として学校体育施設の開放も適切に行われている。

スポーツイベント事業については、新型コロナの感染防止対策を講じながらスポーツイベントが開催できたことは喜ばしい。「スポレクフェスタ 2022」や「天拝山ロードレース大会」では多くの参加者があり、盛況ぶりがうかがえる。心身の健康においてスポーツ・レクリエーションの果たす役割は大きいものがある。今後のスポーツイベントのますますの発展を期待している。

指導者養成事業についても、新型コロナの感染防止対策を講じて指導者養成講座が対面で実施されている。昨今、勝利至上主義や指導者の不適切な指導などが問題になっている。このような問題を解決する上でも本市で実施されているスポーツ指導者養成事業の意義は大きい。このスポーツ指導者養成事業においては、スポーツが多くの市民に親しまれ、誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりといった視点も大切にしてほしい。

4. おわりに

この報告書には、筑紫野市教育委員会が自ら掲げる教育ビジョンをどのように具現化するかが色濃く表れている。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止や制約を受けた事業もあったが、多くは新型コロナの感染防止対策を講じながら事業の継続につなげようと努力している姿がうかがわれた。

ここまで私が述べてきた意見が次年度の事業に何か一つでも参考になれば、幸甚の喜びである。一方で、現実的でなく、的はずれの意見もあると思うが、その点をご容赦願いたい。この一年間も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で業務に支障をきたし、さまざまな面でご苦勞の連続であったことは想像に難くない。そうした中でも、真摯に職務を遂行された筑紫野市教育委員会の職員の皆様に敬意を払うとともに、今後の筑紫野市教育委員会のさらなる発展を祈念するものである。

